



タイトル「**2023年度危機管理学部(公開用)**」、フォルダ「**危機管理学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT4601		
科目名	ゼミナール I		
担当教員	大八木 時広		
対象学年	3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	火 4		
講義室	1312	単位区分	選必
授業形態	演習	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門統合		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード：学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 D P 1－E [学識・専門技能] 専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。 D P 3－G [状況把握力・判断力] 自らの置かれた状況、および自己が帰属する集団の内外の状況を的確に把握し、適切に対応することができる。 D P 4－F [探求力・課題解決力] 問いを設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 D P 6－K [表現力・対話力] 文章および口頭で、自らの考えを的確に表現し、他者に過不足なく伝達することができる。 D P 7－L [協働力・牽引力] 集団的に課題解決を行う際に、自己の立場や責任を認識し、互いに集団の連帯を高めることができる。 D P 8－M [省察力] 知識と経験とを関連付け学修成果を活用可能な状態に高めるとともに、これを新しく複雑な状況に転移させ課題解決につなげることができる。 ■ C Rコード：学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック(CR)との関連 E1 学識・専門技能-20% F1 探求力-20% F2 課題解決-10% G1 状況把握-10% K1 ライティング・コミュニケーション-10% K2 オーラル・コミュニケーション-10% L1 チームワーク-10% M1 統合的・応用的学修-10%		
教員の実務経験	特になし		
成績ターゲット区分	■ 能力開発の目標ステージとの対応] 3発展期～4定着期		
科目概要・キーワード	危機管理とその基礎となる法学に関する専門的な研究活動を実践するために、必要な研究の手法を学び、学生自らが個人の研究テーマを設定し、研究論文を執筆するための指導を行います。学生自らが危機管理に関する問題を発見し、仮説を構築し、自力で仮説を検証することにより、問題の解決につなげ、危機管理能力を養うことができるようになります。ここでは、問題意識を確立し、卒業論文につながる個人研究のテーマを決定すると同時に、先行研究を収集して専門領域に関する知識を獲得できるようになります。授業形態は演習形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替		

	するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。 ■ キーワード 社会的問題意識、グループワーク、研究手法								
授業の趣旨	■ 副題 グループワークによる、グローバル・セキュリティ領域の専門研究入門です。 ■ 授業の目的 ゼミナールⅠではグループワークを中心にゼミ活動を行います。まずグループワークの研究課題を、テキストを基にして決定し、各人の分担を決めて、資料の収集・読解・分析を行います。これらの作業を基にして、グループ単位の研究報告を行います。 ■ 授業のポイント 専門書の読解、資料の解析、グループワークの効果的実践、プレゼンの実施に重点を置きます。								
総合到達目標	■ 社会問題、とりわけ危機管理の問題に関して自らの問題意識を明確に述べ、記述することができる。 ・ 冷戦の国際政治史がどのように進展したか述べることができる。(第2～15回) ・ 国際政治学の基礎知識を記述することができる。(第2～15回) ・ 国際政治史の重要事項・事件・人物について説明することができる。(第2～15回) ・ 現代国際政治の課題を歴史的な問題意識をもって述べるができる。(第15回) ■ 個人研究のテーマの追求に必要な知識を文献などから修得することができる。 ・ 冷戦史の知識を文献などから修得することができる。(第2～15回) ・ アジアにおける冷戦史の知識を文献などから修得することができる。(第2～15回) ・ 多極化に関する知識を文献などから修得することができる。(第7,9,11回) ・ デタントに関する知識を文献などから修得することができる。(第12回) ・ 冷戦終結に関する知識を文献などから修得することができる。(第13～15回)								
成績評価方法	■ レポート3回(100%)：適用ルーブリック E1・F1・F2・G1・K1・K2・M1 (評価の観点) 授業の内容を踏まえて、知識が身についているか、テーマに関して論理立てて明確に自分の考えを示せるかについて評価します。 (フィードバック) 解説は後日、クラスルームで配布します。								
履修条件	特にありません。								
履修上の注意点	グループワークでは受け身の態度は許されません。積極的かつ主体的な取り組みが必要となります。								
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td> ①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 グループワーク、研究報告に関する説明と準備作業の実施することができるようになる(E1,F1,F2,G1,J1,J2,K1,K2,L1,M1)。 ③予習(120分) テキストを講読し、研究テーマの吟味および選択を行う。 ④復習(120分) 研究報告に関する手順の確認、資料作成方法の確認。 </td></tr> <tr> <td>2</td><td> ①授業テーマ 国際政治における危機管理の研究 ②授業概要 テキスト4～5章を用いて、国際政治における危機、および危機管理の事例について、グループワーク(G1,L1)により課題を設定(F1,F2)しリサーチを行い研究報告を行うことができるようになる(E1,J1,J2,K1,K2,M1)。 ③予習(180分) 報告担当班は、研究テーマに関するリサーチ、分析、報告資料の作成。その他のゼミ生は報告テーマに関する文献・資料の講読。 ④復習(60分) グループごとの振り返り。報告に対する質問や指摘の論点整理。次回の報告に向けた課題の整理。 </td></tr> <tr> <td>3</td><td> ①授業テーマ 国際政治における危機管理の研究 ②授業概要 テキスト6～7章を用いて、国際政治における危機、および危機管理の事例について、グループワーク(G1,L1)により課題を設定(F1,F2)しリサーチを行い研究報告を行うことができるようになる(E1,J1,J2,K1,K2,M1)。 ③予習(180分) </td></tr> </tbody> </table>	回	内容	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 グループワーク、研究報告に関する説明と準備作業の実施することができるようになる(E1,F1,F2,G1,J1,J2,K1,K2,L1,M1)。 ③予習(120分) テキストを講読し、研究テーマの吟味および選択を行う。 ④復習(120分) 研究報告に関する手順の確認、資料作成方法の確認。	2	①授業テーマ 国際政治における危機管理の研究 ②授業概要 テキスト4～5章を用いて、国際政治における危機、および危機管理の事例について、グループワーク(G1,L1)により課題を設定(F1,F2)しリサーチを行い研究報告を行うことができるようになる(E1,J1,J2,K1,K2,M1)。 ③予習(180分) 報告担当班は、研究テーマに関するリサーチ、分析、報告資料の作成。その他のゼミ生は報告テーマに関する文献・資料の講読。 ④復習(60分) グループごとの振り返り。報告に対する質問や指摘の論点整理。次回の報告に向けた課題の整理。	3	①授業テーマ 国際政治における危機管理の研究 ②授業概要 テキスト6～7章を用いて、国際政治における危機、および危機管理の事例について、グループワーク(G1,L1)により課題を設定(F1,F2)しリサーチを行い研究報告を行うことができるようになる(E1,J1,J2,K1,K2,M1)。 ③予習(180分)
回	内容								
1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 グループワーク、研究報告に関する説明と準備作業の実施することができるようになる(E1,F1,F2,G1,J1,J2,K1,K2,L1,M1)。 ③予習(120分) テキストを講読し、研究テーマの吟味および選択を行う。 ④復習(120分) 研究報告に関する手順の確認、資料作成方法の確認。								
2	①授業テーマ 国際政治における危機管理の研究 ②授業概要 テキスト4～5章を用いて、国際政治における危機、および危機管理の事例について、グループワーク(G1,L1)により課題を設定(F1,F2)しリサーチを行い研究報告を行うことができるようになる(E1,J1,J2,K1,K2,M1)。 ③予習(180分) 報告担当班は、研究テーマに関するリサーチ、分析、報告資料の作成。その他のゼミ生は報告テーマに関する文献・資料の講読。 ④復習(60分) グループごとの振り返り。報告に対する質問や指摘の論点整理。次回の報告に向けた課題の整理。								
3	①授業テーマ 国際政治における危機管理の研究 ②授業概要 テキスト6～7章を用いて、国際政治における危機、および危機管理の事例について、グループワーク(G1,L1)により課題を設定(F1,F2)しリサーチを行い研究報告を行うことができるようになる(E1,J1,J2,K1,K2,M1)。 ③予習(180分)								

	報告担当班は、研究テーマに関するリサーチ、分析、報告資料の作成。その他のゼミ生は報告テーマに関する文献・資料の講読。 ④復習(60分) グループごとの振り返り。報告に対する質問や指摘の論点整理。次回の報告に向けた課題の整理。
4	①授業テーマ 国際政治における危機管理の研究 ②授業概要 テキスト10章を用いて、国際政治における危機、および危機管理の事例について、グループワーク(G1,L1)により課題を設定(F1,F2)しリサーチを行い研究報告を行うことができるようになる(E1,J1,J2,K1,K2,M1)。 ③予習(180分) 報告担当班は、研究テーマに関するリサーチ、分析、報告資料の作成。その他のゼミ生は報告テーマに関する文献・資料の講読。 ④復習(60分) グループごとの振り返り。報告に対する質問や指摘の論点整理。次回の報告に向けた課題の整理。
5	①授業テーマ 国際政治における危機管理の研究 ①授業テーマ 国際政治における危機管理の研究 ②授業概要 テキスト11章を用いて、国際政治における危機、および危機管理の事例について、グループワーク(G1,L1)により課題を設定(F1,F2)しリサーチを行い研究報告を行うことができるようになる(E1,J1,J2,K1,K2,M1)。なおレポートを課し、次回回収する。解説は後日、クラスルームで配布する。 ③予習(180分) 報告担当班は、研究テーマに関するリサーチ、分析、報告資料の作成。その他のゼミ生は報告テーマに関する文献・資料の講読。 ④復習(60分) グループごとの振り返り。報告に対する質問や指摘の論点整理。次回の報告に向けた課題の整理。
6	①授業テーマ 国際政治における危機管理の研究 ②授業概要 テキスト12章を用いて、国際政治における危機、および危機管理の事例について、グループワーク(G1,L1)により課題を設定(F1,F2)しリサーチを行い研究報告を行うことができるようになる(E1,J1,J2,K1,K2,M1)。 ③予習(180分) 報告担当班は、研究テーマに関するリサーチ、分析、報告資料の作成。その他のゼミ生は報告テーマに関する文献・資料の講読。 ④復習(60分) グループごとの振り返り。報告に対する質問や指摘の論点整理。次回の報告に向けた課題の整理。
7	①授業テーマ 国際政治における危機管理の研究 ②授業概要 テキスト13章を用いて、国際政治における危機、および危機管理の事例について、グループワーク(G1,L1)により課題を設定(F1,F2)しリサーチを行い研究報告を行うことができるようになる(E1,J1,J2,K1,K2,M1)。 ③予習(180分) 報告担当班は、研究テーマに関するリサーチ、分析、報告資料の作成。その他のゼミ生は報告テーマに関する文献・資料の講読。 ④復習(60分) グループごとの振り返り。報告に対する質問や指摘の論点整理。次回の報告に向けた課題の整理。
8	①授業テーマ 国際政治における危機管理の研究 ②授業概要 テキスト14章を用いて、国際政治における危機、および危機管理の事例について、グループワーク(G1,L1)により課題を設定(F1,F2)しリサーチを行い研究報告を行うことができるようになる(E1,J1,J2,K1,K2,M1)。 ③予習(180分)

	報告担当班は、研究テーマに関するリサーチ、分析、報告資料の作成。その他のゼミ生は報告テーマに関する文献・資料の講読。 ④復習(60分) グループごとの振り返り。報告に対する質問や指摘の論点整理。次回の報告に向けた課題の整理。
9	①授業テーマ 国際政治における危機管理の研究 ②授業概要 テキスト15章を用いて、国際政治における危機、および危機管理の事例について、グループワーク(G1,L1)により課題を設定(F1,F2)しリサーチを行い研究報告を行うことができるようになる(E1,J1,J2,K1,K2,M1)。 ③予習(180分) 報告担当班は、研究テーマに関するリサーチ、分析、報告資料の作成。その他のゼミ生は報告テーマに関する文献・資料の講読。 ④復習(60分) グループごとの振り返り。報告に対する質問や指摘の論点整理。次回の報告に向けた課題の整理。
10	①授業テーマ 国際政治における危機管理の研究 ①授業テーマ 国際政治における危機管理の研究 ②授業概要 テキスト16章を用いて、国際政治における危機、および危機管理の事例について、グループワーク(G1,L1)により課題を設定(F1,F2)しリサーチを行い研究報告を行うことができるようになる(E1,J1,J2,K1,K2,M1)。なおレポートを課し、次回回収する。解説は後日、クラスルームで配布する。 ③予習(180分) 報告担当班は、研究テーマに関するリサーチ、分析、報告資料の作成。その他のゼミ生は報告テーマに関する文献・資料の講読。 ④復習(60分) グループごとの振り返り。報告に対する質問や指摘の論点整理。次回の報告に向けた課題の整理。
11	①授業テーマ 国際政治における危機管理の研究 ②授業概要 テキスト17章を用いて、国際政治における危機、および危機管理の事例について、グループワーク(G1,L1)により課題を設定(F1,F2)しリサーチを行い研究報告を行うことができるようになる(E1,J1,J2,K1,K2,M1)。 ③予習(180分) 報告担当班は、研究テーマに関するリサーチ、分析、報告資料の作成。その他のゼミ生は報告テーマに関する文献・資料の講読。 ④復習(60分) グループごとの振り返り。報告に対する質問や指摘の論点整理。次回の報告に向けた課題の整理。
12	①授業テーマ 国際政治における危機管理の研究 ②授業概要 テキスト18章を用いて、国際政治における危機、および危機管理の事例について、グループワーク(G1,L1)により課題を設定(F1,F2)しリサーチを行い研究報告を行うことができるようになる(E1,J1,J2,K1,K2,M1)。 ③予習(180分) 報告担当班は、研究テーマに関するリサーチ、分析、報告資料の作成。その他のゼミ生は報告テーマに関する文献・資料の講読。 ④復習(60分) グループごとの振り返り。報告に対する質問や指摘の論点整理。次回の報告に向けた課題の整理。
13	①授業テーマ 国際政治における危機管理の研究 ②授業概要 テキスト19章を用いて、国際政治における危機、および危機管理の事例について、グループワーク(G1,L1)により課題を設定(F1,F2)しリサーチを行い研究報告を行うことができるようになる(E1,J1,J2,K1,K2,M1)。 ③予習(180分)

	報告担当班は、研究テーマに関するリサーチ、分析、報告資料の作成。その他のゼミ生は報告テーマに関する文献・資料の講読。 ④復習(60分) グループごとの振り返り。報告に対する質問や指摘の論点整理。次回の報告に向けた課題の整理。
14	①授業テーマ 国際政治における危機管理の研究 ①授業テーマ 国際政治における危機管理の研究 ②授業概要 テキスト20章を用いて、国際政治における危機、および危機管理の事例について、グループワーク(G1,L1)により課題を設定(F1,F2)しリサーチを行い研究報告を行うことができるようになる(E1,J1,J2,K1,K2,M1)。なおレポートを課し、次回回収する。解説は後日、クラスルームで配布する。 ③予習(180分) 報告担当班は、研究テーマに関するリサーチ、分析、報告資料の作成。その他のゼミ生は報告テーマに関する文献・資料の講読。 ④復習(60分) グループごとの振り返り。報告に対する質問や指摘の論点整理。次回の報告に向けた課題の整理。
15	授業テーマ 国際政治における危機管理の研究 ①授業テーマ 国際政治における危機管理の研究 ②授業概要 テキスト21章を用いて、国際政治における危機、および危機管理の事例について、グループワーク(G1,L1)により課題を設定(F1,F2)しリサーチを行い研究報告を行うことができるようになる(E1,J1,J2,K1,K2,M1)。グループごとの振り返りも行う。 ③予習(180分) 報告担当班は、研究テーマに関するリサーチ、分析、報告資料の作成。その他のゼミ生は報告テーマに関する文献・資料の講読。 ④復習(60分) グループごとの振り返り。報告に対する質問や指摘の論点整理。次回の報告に向けた課題の整理。前期の振り返りも行う。
関連科目	危機管理基礎演習 I (RNGT2601)、政治学1(RMGT1139)、国際政治学(RMGT3552)、国際法(RMGT3451)、外交史(RMGT3556)
教科書	松岡完『20世紀の国際政治』同文館出版、2014年、ISBN978-4-495-46173-7
参考書・参考URL	渡邊啓貴『アメリカとヨーロッパ』中公新書、2018年、ISBN978-4-12-102504-3
連絡先・オフィスアワー	■ 連絡先 開講時に告知します。 ■ オフィスアワー 金曜日昼休み。アポイントを取って下さい。
研究比率	■ 危機管理領域との対応 グローバルセキュリティ領域50%：パブリックセキュリティ領域30%：災害マネジメント領域10%：情報セキュリティ領域10% ■ 危機管理と法学とのバランス 危機管理学70%：法学30%

